

流山市避難行動要支援者避難支援計画 改定のポイントについて

・相次ぐ災害のなかで、障害者や要介護者等が多く犠牲になっていることを踏まえ、令和3年5月の災害対策基本法改正により、避難行動要支援者1人ひとりの避難計画を定めた「個別避難計画」の作成が市町村の「努力義務」とされました。

個別避難計画を作成していく方針を定めるため、「流山市避難行動要支援者避難支援計画」の改定を行います。

・改定（案）のポイント

（１）第3章を個別避難計画に割き、その目的、内容、作成の方法、活用の仕方などを記載します。

（２）現行の計画では、地域支え合い活動対象者名簿に含まれる、

①75歳以上のみの世帯に属する方

②身体障害者1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳A等、要介護3以上の方

③その他支援を必要とする方で名簿登載の申し出があった方

これらを個別避難計画の作成対象である「避難行動要支援者」と位置付けていました。

国の指針では、『65歳以上であること』等避難能力に着目しない要件を用いて名簿を作成している場合には、（略）真に『自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るために特に支援を要するもの』を対象として避難行動要支援者の範囲を設定し、避難行動要支援者名簿を精査し、個別避難計画の作成に取り組んでいくことが適当である。』とされています。

このことから、地域支え合い活動対象者名簿の範囲は変わりませんが、「避難行動要支援者」は上記②③の方を範囲とすることとします。

図：災害時に配慮が必要な者の整理（要配慮者、支え合い活動対象者、避難行動要支援者）

要配慮者：高齢者・障害者・乳幼児・妊産婦・日本語の理解が十分でない外国人等			
支え合い活動対象者	①75歳以上のみの世帯に属する方で、名簿登載に対して不同意の申し出のない方	※括弧内の人数はR6.1月時点	
	①②重複の方(1,178人)	名簿登載不同意の方(112人)	(個別避難計画作成)避難行動要支援者
	②身体障害者手帳1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳A等、要介護3以上の方で、名簿登載に同意の申し出のあった方(978人)	名簿登載に同意の申し出のない方(1,809人)	
	③その他支援を必要とする方で、名簿登載の申し出のあった方(375人)		